

2011年 日本粉体工業技術協会(大川原武会長)は4月1日から一般社団法人への移行、10月の「粉体工業展 大阪2011」の開催、11月の創立40周年記念式典などの活動に取り組み、技術委員会の新設、規格・標準化、人材育成にも力を入れ、協会事業を充実させる。リーマン・ショック以後、なかなか浮上しない景況感を「掃すべく積極的に活動すること」で、さらなる粉体工業技術の進展と拡大を図っている。

ビッグサイトで開催

「材料」エンジニアリング情報「ナノパワー」が、出張各社のブースで、今新たに「二次電池」と「米粉情報」を追加した。その結果、最近の「国際粉体工業展東京2010」を開催し、注目されているナノ、二次電池、米粉などの最新情報を展示する出張企業「ナノパワー」が、大阪2011の開催に合わせ、4月14日から17日、ビッグサイトに開催される「国際粉体工業展東京2010」に出展する。会場は、前回は「ナノパワー」が、出張各社のブースで、今新たに「二次電池」と「米粉情報」を追加した。その結果、最近の「国際粉体工業展東京2010」を開催し、注目されているナノ、二次電池、米粉などの最新情報を展示する出張企業「ナノパワー」が、大阪2011の開催に合わせ、4月14日から17日、ビッグサイトに開催される「国際粉体工業展東京2010」に出展する。

日本粉体工業技術協会

情報発信

協会では新たな委員会の新設や海外広報の充実を図る。技術委員会を新設し、粉体技術に関するさまざまな技術用語の解説に取組み、企業をはじめ、粉体に関する相談が多く寄せられるが、用語の意味や読みなどを統一する技術的な統括部門がないことから、新たに「情報発信」を設け、相談窓口の一本化を図る。まず共通基礎用語の検討を始め、将来は粉体技術用語集などの発行も視野に入れる。

人材育成事業を推進

造るものは最終製品として扱う企業の担当者らを対象とし、座学と実習を組み合わせた授業に、情報交換の場も加えた「粉体エンジニア早期養成講座」は、昨年の実績(9回)に今年も「集じん」をテーマに追加し、計10回の開催を予定。さらに経営者を対象とする経営講座の定期化を図るための体制整備や、

企画、一段の充実を目指す

11年(平23)度は10月19日から21日までの3日間、大阪市住之江区のインテックス大阪で「粉体工業展大阪2011」を開催。2年ぶりの開催で、東京同様開催の4日間から3日間に短縮されるが、開催時間を前回の10時から9時に早める(19日は9時半)など、1日あたり1時間半(19日は1時間)延ばしたほか、併催企画などの充実により密度の高い展示会を目指している。

一般社団法人化と40周年

11年は4月1日予定で一般社団法人化に移行する。昨年10月に移行認可を申請し、各委員会や部門を適切に移行できるように、継続事業や共益事業に区分するなど十分な準備を進めており、3月24日に会員を中心として200人規模の講演会を開くほか、01年から10年間の協会の活動内容をまとめた記念誌の発行や記事、華美な式典などを予定している。

技術の進展と拡大へ



東大会場を移して開いた「国際粉体工業展2010東京」(10年12月)

「安全」への取り組み

粉体は扱い方を誤ると、発火や爆発の恐れがある。協会では、安全規格の向上を目的として、前年に引き続き、耐震規格の向上に向けた取り組みを進める。さらに、粉体工業展大阪2011でのセミナー開催や粉体工業学会秋期研究発表会でのフォーラム開催を予定している。

規格・標準化

国際標準化は「グローバルスタンダード」として、動的分散、比表面積測定法、レーザー回折法による粒子径解析など、規格・標準化の重要性を確保することは重要だ。国は10年2月に専門調査会が国の知的財産戦略本部内に設置し、次の100年を国際標準化の新たな世紀とすべく取り組みを始めた。協会では粉体技術におけるJIS原案作成を目指す。



厳しい環境ながら粉体の幅広さや先進性をアピールする同展には多くの来場者が訪れた

産業の進展を支える基盤技術

粉体技術

粉粒体輸送機器の事ならお任せ下さい!!

チューブコンベアー **トランジール**
●エアレスの分離、静電気の発生が少ない。
●粉塵飛散が無く衛生的です。
●組み合わせにより長距離搬送が可能です。

高濃度空気輸送装置 **ピュアセット**
●分解、破砕が少なく、分解、洗浄、組立が簡単です。
●食品、医薬品を問わず、広範囲利用が可能です。(G.M.P対応)

ホッパースケール
●粉粒体輸送機との組み合わせにより、数種原料の計量及び混合が可能です。

日本興産株式会社
http://www.n.kosan.co.jp
大阪支店 〒557-0063 大阪市東成区南津守5-6-56
TEL06-6653-2936 FAX06-6653-6968
市川支店 〒272-0121 千葉県市川市末広1-3-2
TEL047-395-4751 FAX047-395-0931
●ホームページをリニューアルしました。

ナイロン製 **4ポケット** ナイロン製 **7.0サイド** 透明ナイロン製 **ポリワラス**

①バケット サイズ: 2½インチ~18インチ
②誘導型バケット サイズ: 4インチ~10インチ
③ピボテッド型バケット サイズ: 1.5L~9L

サイズ: 外径40mmから490mm

※切削による加工スクレーパーや金属製の羽根も承ります

金属切削加工例 樹脂切削加工例

割れ欠け対策 障壁内蔵管
サイズ: 内径110mm 高さ130mm

ポリカーボネート製パイプ・バケットコンベアー用ベルト・バケットコンベアーの販売も致しております

上へ 横へ 下へ 搬送機専門メーカー
株式会社 大日ハンソー
本社・工場 〒547-0041 大阪市平野区平野北1-10-35
TEL06-6791-4145 FAX06-6792-9260
URL: http://www.jade.dti.ne.jp/~dnhks/
E-Mail: dnhks@jade.dti.ne.jp

磁性を有する高耐食性ステンレス金網

マグネステン®

塩素系に強く3年間海水に漬けた耐食試験結果でも、ほぼ100%の強度を保ち、万一破損して粉体に混入しても磁石で100%除去できる。

ふるい分け工程などで万一金網が破損し、その金属線が粉体等に混入した場合、金属探知機及び磁石に容易に反応し除去が可能です。

営業品目
●ステンレス金網 ●ウェッジワイヤースクリーン
●フィルター金網 ●ワイヤコンベヤネット
●振動篩金網 ●打抜金網
●焼結金網 ●エレクトロフォームスクリーン
●各種試験用篩 ●各種金網加工品

真鍋工業株式会社
本社 〒537-0013 大阪市東成区大今里南4-1-8
TEL06(6974)8888(代) FAX06(6976)7571
http://www.manabe-jp.net

マルチ粉体計量システム

生産変動や多品種少量生産に対応可能な
コンテナ・超高精度計量装置・自動倉庫などでシステムを構成

ISO-9001 ISO-14001 認証取得

ユニークな発想の計量装置
フレカルフイーダ
振動フィーダとフレキシブル素材の特殊ホッパーで構成され、振動をコリコリに伝えることでブリッジ等のトラブルを解消します。安定して原料を排出できるため、供給精度が高く、幅広くご使用できます。

フレキシブルコニカル
振動フィーダ
台秤

紙袋粉体吸引装置 **パウダーワープ**
コンタミ皆無の状態
で、中身の粉体を次工程に吸引移送する装置。

かるがるコンベア
運ぶ距離を1つの機器で行う、オールインワンユニット
振動ダンパー式フィーダ「かるがるフィーダ」に「吸引輸送装置」を合体させ、さらにロードセルにより排出量をコントロールすることに成功しました。
「運ぶ」「貯める」「計る」が、この一台で実現します。

吸引輸送装置(バキュームコンベア)
積算式計量装置
振動ダンパー式フィーダ(かるがるフィーダ)

赤武エンジニアリング株式会社
本社 〒410-0302 静岡県沼津市東津路632 TEL(055)925-6666 FAX(055)925-6688
東京営業所 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-5-8 TEL(03)3263-3407 FAX(03)3263-3405

●資料送付・テスト迅速対応! TEL055-925-6666またはTEL03-3263-3407
●当社のホームページ及びE-mailアドレス http://www.akatake.co.jp info@akatake.co.jp